

内部崩壊の危機

菅山、多田の兩氏辭任す

// 疑惑の目 // へ押流した六百コントス

一般人は問題の良解に // 苦慮

救援會

其

會後

「六百コントスと二百の間相場」事件を總つて、救援會市地方委員長菅山監造及び委員多田一郎がこの程正式辭任を決つた、理由は救援會に對して向けられた一般からの疑惑の眼を苦感し、責任を感じるといふにあつた。

果して事件は大詰めとなり、問題の決着はこれでいいといふことになるか――

菅山氏は

慰問小包によつて一文でも語ることろか、これの通り赤字だつた。

と會計細書を示して説明、當時の事務長多田氏が最も過らした、法網をくぐつてまでもなれた一闇ドルの思惑をひには言も觸れず、闇から闇へ流れたいはれは六百コントス、その話もたゞ「世間の疑惑の目」に押流したといふ結果以外の何物でもないごとくに落ちてしまつた。

右の他に「旅券とニコントス問題」にからみ、早尾氏の「救援會一部役員の行為とその責任」云々の言葉があり、今や在伯一般邦人とそいゝ面の皮、そのところを變へて、この問題の良解に「苦慮」する立場に置かされた。

珈琲市價下落の真相

思惑・買溜め・投賣り

珈琲市價下落

の真相

伯國經濟の主なる柱である

珈琲開拓の動きは、まじめに直接甚大なる反響を賣

点から頗る重大視される

が、それが需要多きに拘らず最近市價が下落した

ことは各方面に異常な關心

の的となつた

珈琲市價が下落したのは珈琲開拓の主なる柱である

珈琲開拓の動きは、まじめに直接甚大なる反響を賣

点から頗る重大視される

が、それが需要多きに拘らず最近市價が下落した

ことは各方面に異常な關心

の的となつた

珈琲市價が下落した

